

電源立地地域対策交付金

基金の名称	地域活性化基金（先端産業創出企業支援特例補助金）
平成27年度末基金残高 （交付金相当額）	1,004,619,236円（1,000,996,000円）
基金事業の概要	先端技術産業等の立地を促進するため、土地の取得費、造成費、工場等の建設経費、機械装置等の取得経費に対し補助を行う。
基金事業の終了時期	—
基金事業の目標	国際的にも魅力ある産業立地環境を整え、先端技術産業等の立地を促進し、県内産業の空洞化に対処し、産業構造の高度化、雇用機会の拡大を図り、もって本県経済の健全な発展と県民生活の安定向上を図る。

基金の名称	地域活性化基金（企業立地促進補助事業）
平成27年度末基金残高 （交付金相当額）	892,676,138円（887,868,000円）
基金事業の概要	県内への企業立地を促進するため、誘致企業に対し初期投資負担軽減・事業活動支援となる補助を行う。
基金事業の終了時期	—
基金事業の目標	国際的にも魅力ある産業立地環境を整え、先端技術産業等の立地を促進し、県内産業の空洞化に対処し、産業構造の高度化、雇用機会の拡大を図り、もって本県経済の健全な発展と県民生活の安定向上を図る。

基金の名称	地域活性化基金（鳥獣害のない里づくり推進事業）
平成27年度末基金残高 （交付金相当額）	72,253,945円（71,309,000円）
基金事業の概要	野生鳥獣を適正な数に保ち、農林業・生活環境被害を防止するため、市町が行う有害鳥獣捕獲に係る経費を助成する。
基金事業の終了時期	—
基金事業の目標	市町の有害獣捕獲経費への助成を行い、有害獣による農作物被害を減少させる。

基金の名称	地域活性化基金（福井国体関係県有施設整備修繕事業）
平成27年度末基金残高 （交付金相当額）	397,550,754円（395,889,195円）
基金事業の概要	平成30年「福井しあわせ元気国体」（以下「福井国体」という。）に向け、県有体育施設等の整備・修繕を行い、国体開催に向けた環境整備を行う。
基金事業の終了時期	平成30年度
基金事業の目標	<p>福井国体のメイン会場となる福井運動公園については、大会の競技会場や選手の強化拠点、将来にわたる利用を念頭においた整備を行う。</p> <p>福井国体の競技会場となる県立ライフル射撃場については、ライフル射撃競技の振興、競技力向上を図るため、新たに10m射場を整備する。</p> <p>馬術競技の競技力向上拠点となる県立馬術競技場については、老朽化が著しいため、改修を行う。</p>

基金の名称	地域活性化基金（産業団地整備補助事業）
平成27年度末基金残高 （交付金相当額）	439,093,945円（437,400,000円）
基金事業の概要	産業団地を整備する市町に対する補助を行う。
基金事業の終了時期	—
基金事業の目標	市町が実施する産業団地の整備事業に対し補助することにより、地域と調和した付加価値の高い産業用地を確保し、企業立地の一層の促進を図る。

基金の名称	福井県企業立地促進資金貸付基金
平成26年度末基金残高 (交付金相当額)	525,187,979円(200,000,000円)
基金事業の概要	企業の立地を促進するための資金の貸し付けを行う。
基金事業の終了時期(予定)	—
基金事業の目標	広報ツール等により制度の周知を図るとともに、県内外における企業誘致活動の際、当該制度を積極的にPRすることにより利用を促進

基金の名称	福井県特別経済対策産業団地整備基金
平成26年度末基金残高 (交付金相当額)	4,411,727,033円(4,400,000,000円)
基金事業の概要	用地取得費・補償費を含めた産業団地の整備に要する経費を対象に、県が嶺南市町に対し、資金の無利子貸付を実施する。
基金事業の終了時期(予定)	—
基金事業の目標	嶺南市町が実施する産業団地の整備に要する経費にかかる負担が発生しないよう支援を行うことにより、嶺南地域での企業立地を進める上で不可欠な大規模な産業団地の整備を促進する。

原子力発電施設立地地域共生交付金

核燃料サイクル交付金

基金の名称	地域活性化基金（嶺南地域新産業創出支援事業）
平成27年度末基金残高 （交付金相当額）	63,595,933円（63,500,120円）
基金事業の概要	公益財団法人若狭湾エネルギー研究センターが実施する、原子力・エネルギー関連技術等を活用して新たな技術や商品の研究開発に取り組む地元企業等への支援事業（嶺南地域新産業創出モデル事業）に対して助成を行う。
基金事業の終了時期	平成29年度
基金事業の目標	福井県が推進する「エネルギー研究開発拠点化計画」の一環として、嶺南に事業所を有する企業を対象に、原子力・エネルギー分野、地域産業活性化分野、環境分野での関連技術を活用した新技術・新製品の研究・開発を支援する。

基金の名称	地域活性化基金（重要伝統的建造物群保存地区整備促進事業）
平成27年度末基金残高 （交付金相当額）	31,960,583円（31,916,000円）
基金事業の概要	重伝建地区の保存のため所有者等の行う事業で、建築物や工作物等の修理事業および当該環境を保存するために必要と認められる物件の管理、修理、修景または復旧に要する経費に対し、補助金を交付する。
基金事業の終了時期	平成31年度
基金事業の目標	県内の重要伝統的建造物群保存地区（小浜市小浜西組・若狭町熊川宿）（以下「重伝建地区」という。）の整備に積極的な支援措置を講ずることにより、その集中的な整備を進め、地区内の歴史的景観の保護と観光客の増加による交流人口の拡大を図る。

基金の名称	地域活性化基金（原子力人材育成推進事業）
平成27年度末基金残高 （交付金相当額）	135,690,599円（135,537,335円）
基金事業の概要	公益財団法人若狭湾エネルギー研究センターの一組織である福井県国際原子力人材育成センターが実施するアジア原子力人材育成会議の開催や海外研究者等受入れ支援等の人材育成事業について助成を行う。
基金事業の終了時期	平成31年度
基金事業の目標	アジア原子力人材育成会議の本県での開催および海外研究者等の本県での受入れ等の実施により本県を国際的な原子力人材育成拠点とすることで、原子力発電導入国の安全技術や人材育成に貢献するとともに地域活性化につなげる。

基金の名称	地域活性化基金（陽子線がん治療高度化研究事業）
平成27年度末基金残高 （交付金相当額）	41,344,803円（41,264,330円）
基金事業の概要	陽子線治療適用疾患を拡大するとともに治療効果の高い新たな治療法を開発（①陽子線とエックス線の混合照射による治療システムの開発、②乳がん治療法の開発、③陽子線による細胞へのダメージ評価による照射線量の適正化研究）する。
基金事業の終了時期	平成28年度
基金事業の目標	陽子線がん治療における治療部位の拡大や治療効果の向上等、治療技術のさらなる高度化研究を実施することにより、質の高い最先端の医療を住民に提供し、住民の安全・安心の確保を図る。

基金の名称	地域活性化基金（スポーツ振興施設整備事業）
平成27年度末基金残高 （交付金相当額）	164,274,561円（164,014,000円）
基金事業の概要	国体の競技会場施設の改修等を実施する市町に対し、改修等にかかる経費の一部助成を行う。
基金事業の終了時期	平成29年度
基金事業の目標	国体の競技会場施設の改修等を実施する市町に対し、改修等にかかる経費の一部助成を行い、競技会場施設の改修等を計画的に進める。

基金の名称	地域活性化基金（県道坂本高浜線整備事業）
平成27年度末基金残高 （交付金相当額）	1,819,782,364円（1,817,957,385円）
基金事業の概要	主要地方道坂本高浜線の当該区間は、山岳区間であることから幅員が狭く、かつ急カーブ・急勾配区間が連続しているため、特に冬期間は安全な通行が困難な状況にある。また、旧大飯町と旧名田庄村を結ぶ合併支援道路としても位置付けられている幹線道路であることから、早期にバイパス整備を行い、安全で円滑な道路交通の確保を図る。
基金事業の終了時期	平成32年度
基金事業の目標	主要地方道坂本高浜線のバイパス整備により、安全で円滑な道路交通の確保を図る。

基金の名称	地域活性化基金（里山里海湖交流拠点整備事業）
平成27年度末基金残高 （交付金相当額）	600,627,639円（600,000,000円）
基金事業の概要	三方五湖などの優れた里山里海湖やシンボリック的存在である水月湖「年縞」を観光資源として積極的に活用し、情報を発信する周辺観光地の核となる、里山里海湖交流拠点施設を整備する
基金事業の終了時期	平成29年度
基金事業の目標	里山里海湖保全・再生活動および水月湖「年縞」の利活用により、地域活性化を図る。

基金の名称	地域活性化基金（陽子線がん治療施設治療推進事業）
平成27年度末基金残高 （交付金相当額）	238,785,039円（238,033,000円）
基金事業の概要	陽子線治療の治療費および交通費を軽減することにより、患者の経済的負担を軽減する。
基金事業の終了時期	平成32年度
基金事業の目標	治療費等の一部を軽減することにより、患者の経済的負担を軽減し、県民に広く陽子線治療を提供する。

基金の名称	地域活性化基金（医師確保対策事業）
平成27年度末基金残高 （交付金相当額）	399,657,616円（399,266,400円）
基金事業の概要	福井大学医学部と連携して、推薦入試（福井健康推進枠）の入学者に対して、卒業後9年間、県内の臨床研修病院および指定医療機関に勤務することを条件に、修学資金を貸与する。
基金事業の終了時期	平成32年度
基金事業の目標	医師の勤務環境を改善し、県内の医師不足を解消するべく、地域医療を担う医師を育成し、確保する。